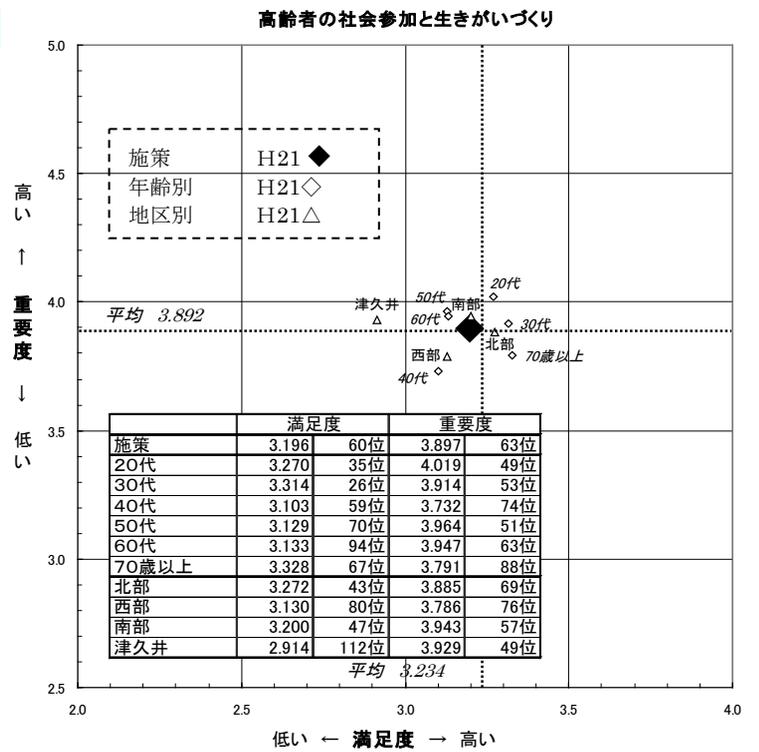


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

○この施策の満足度は3.196で全119施策の中で60番目。
 ○重要度は3.897で63番目である。
 ○改善要望度は0.03で60番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ ② 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 ② 1	④ 2 1	前回評価は、満足度、重要度ともに平均以上であったが、今回は、平均値と比較して、満足度が0.038ポイント低く、重要度は、0.005ポイント高い結果であった。しかしながら、満足度、重要度は、ほぼ平均的な数値であるため、改善に努めつつ、なお現在の水準を維持する施策として評価したい。
合計		10 8		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	地域において高齢者が生きがいを持ち、健康な生活を送ることができるよう支援していく必要がある。また、団塊の世代を含めた高齢者自身が社会を支える担い手として、長年培ってきた能力、技能、経験を活かし、ボランティア活動や地域活動などの社会貢献活動を行う仕組みづくりが必要である。
解決策	高齢者(あじさい)大学の学科数の拡大を行うとともに、受講者のニーズに応じたものになるよう内容を充実させる。また、高齢者の社会活動支援のため、ホームページのさらなる充実を行うとともに、地域デビューのための講座を開催するなど高齢者の意識啓発を行なう事業を実施する。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

評価基準に則り、効率性の評価を4点⇒2点とし、評価をA⇒Bとする。	2次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向